

SSH通信

～第Ⅲ期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.1 発行 2024.5.31

JSEC2024 花王賞受賞

(2024.2.21)



2023年度に行われたJSEC2023（第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ）で自然科学部化学班の生徒2名が研究テーマ「白金箔における水素と酸素の反応の研究」で花王賞を受賞しました。

自然科学部化学班の2名は、2024年5月11日～17日にアメリカ・ロサンゼルスで行われるISEF2024（国際科学技術フェア）に日本代表として出場し、研究発表をします。みなさまの応援をよろしくお願いします。

日本藻類学会第48回大会 (2024.3.23)



2024年3月23日 神戸大学で開催された日本藻類学会第48回大会でポスター発表を行いました。

ワカメ研究班とミカヅキモ研究班が参加し、ミカヅキモ研究班は参加した高校生の中から3グループのみが選ばれる優秀賞を受賞することができました。専門性の高い学会に参加し、鋭い指摘を多く受けることができ、多くの学びを得ることができました。

また、高校時代の研究を生かし社会人として活躍している本校卒業生も参加しており、多くのアドバイスをいただくこともできました。

ドローンプログラミング教室 in 鶴ヶ谷市民センター(2024.1.13)

2024年1月13日（土）9：30～12：00に鶴ヶ谷市民センターを会場に、ひらめきサイエンス「ドローンプログラミング教室」を開催しました。三高生12名が講師となり、小学生13名（1部7名、2部6名）と一緒にペアを組み、□の軌道を描く課題をクリアするためのプログラミングをしました。2つめの課題「龍宮城へ出かけよう」は、5m×5mのコースに設定されたゴールに着陸するプログラムに挑戦しました。参加した小学生は自分の考えでプログラミングを試し、三高生と相談しながら微調整をして、プログラムの修正を試行錯誤しながら、みんながゴールに到達していました。

60分間と短い講習でしたが、参加した小学生も高校生もとても満足していました。理系人材育成をこれからも続けていきます。鶴ヶ谷市民センターのみなさま大変お世話になりました。

○参加者の感想(抜粋)

小学生：ドローンが3回も入ってうれしかったです。また参加したいです。お兄さん、お姉さんがやさしくていねいに教えてくれて分かりやすかったです。

保護者：子どもの自由な発想をそのまま受け入れて体験させていただき、ありがとうございました。とても楽しく参加できたと思います。



全国総合文化祭(ぎふ総文2024)に 宮城県代表で4部門出場(ポスター・化学・生物・地学)



12月26日(火) 戦災復興記念館を会場に、全国高校総合文化祭最終選考会が行われ、仙台三高自然科学部の研究が全5部門中4部門で県代表を獲得しました。県代表4部門制覇は初の快挙です!

2024年8月3日~8月5日 岐阜県大垣市で行われる「清流の国ぎふ総文2024(全国高等学校総合文化祭)」で発表をします。応援よろしくお願ひします。

部門	発表題	出場団体
ポスター	白金箔における水素と酸素の反応の研究	自然科学部化学班
化学	水酸化鉄(Ⅲ)コロイド生成におけるガラス着色の研究	自然科学部化学班
生物	ミカツキモの有性生殖について	自然科学部生物班
地学	トリゴニアの表面構造から探る~トリゴニアはどう生き抜いたのか~	自然科学部地学班

先端科学講演会で科学に対する知的好奇心を刺激!

第2回SS先端科学講演会(2024.01.16)

令和6年1月16日(火)14:30~16:00 理数科1・2年生と普通科希望者(約200名)が参加して、第2回SS先端科学講演会が行われました。講師に梅津理恵教授(東北大学金属材料研究所)をお迎えし、磁性材料研究やこれから期待されるナノテラスの活用についての講話をいただきました。特に、日本と海外の女性研究者の数をデータで示したことが印象的で、梅津先生自身が研究者になるまでの経験を女性研究者のロールモデルとして紹介しながら、研究者を目指す女子生徒へエールを送っていました。

磁性研究の面白さやナノテラスで期待される実験など生徒から多くの質問があり、先端研究の難しい内容を生徒に分かりやすく答えていただきました。講演会後には、希望生徒との座談会を行い、生徒からの質問に答え



第3回SS先端科学講演会(2024.02.21)



令和6年2月21日(水)13:20~14:10に大講義室を会場に第3回SS先端科学講演会を開催し、理数科・普通科1・2学年の生徒約200名が参加しました。花王株式会社研究開発部門研究戦略・企画部上席主任研究員の山田泰司様を講師にお迎え、「商品開発に関わる企業研究職の魅力」についてご講演頂きました。理系の大学・大学院修士課程・博士課程、入社後の研究職のキャリアパス、および花王における商品開発の進め方と研究員の関わりについて経験を基に紹介していただき、研究者としてのキャリア意識を高める良い機会となりました。
※本講演会は、JSEC2023花王賞の受賞により実現した企画です。